

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

南田辺小	学校	児童数	133
------	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
男子	15.74	19.48	33.98	41.22	53.87	9.43	149.22	20.62	53.45
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
女子	14.84	19.05	40.05	38.78	37.16	9.80	140.70	11.54	54.25

結果の概要

全国の平均値、大阪市の平均値と本校の平均値を比べると、男子では、全国平均、大阪市平均ともに大幅に下回っている種目はほとんどない。女子では、握力、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げで全国平均を下回る結果となっている。体力合計点の平均では男女ともに全国平均、大阪市平均ともに超えているのが本校の現状である。「運動やスポーツは好きですか」という質問に対しては「好き」と答える児童が男子では、全国平均を上回り、女子では全国平均を下回った。さらに、「体育の授業は楽しいですか」という質問に対しても、同様の結果が得られた。このことから「運動が好きかどうか」「体育の授業が楽しいかどうか」ということが体力テストの結果にも大きくかかわっていることが考えられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、休み時間の学級遊びや、運動委員会を中心とするみんな遊び、大縄跳びの練習会など、楽しみながら運動できるような活動を設定した。体力合計点の結果を見ると、全国平均大阪市平均を上回っており、日々の運動に関する活動の効果が得られたと感じる。しかし、男女の運動に対する意識には大きな差があった。今後はこの差を埋めていきながら、さらに肯定的な意見が得られるように学校全体で運動に関する取り組みを行っていく必要がある。体育の授業に関しては、苦手な児童でも楽しみながら授業に参加できるような授業の形を研究・共有する必要があると感じている。